

「市長記者会見」の概要

■日時 令和4年1月25日（火）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、新建新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【新型コロナワクチン追加接種（3回目）について】

問 高齢者（65歳以上）接種は1月24日（月）から始まったということで良いか。

回答 そのとおり。あと1月については、28日（金）と31日（月）を予定している。

2月についても、既に日時指定の希望はがきを出している人について、順次接種を行う予定となっている。資料として添付したお知らせ通知は、3月に接種される人用のものをお示しさせていただいた。

問 追加接種（3回目）を予定している高齢者（65歳以上）の人数は

回答 概ね1万6,000人。（施設入所者等を除く）

問 1万6,000人分のワクチンは整っているのか。

回答 その予定となっている。

問 集団接種と個別接種の千曲中央病院、長野寿光会上山田病院は武田/モデルナ社製のワクチンということで良いか。

回答 そのとおり。

問 ファイザー社製ワクチンを取り扱う市内医療機関の件数は。

回答 概ね15の医療機関となっている。

【屋代保育園基本計画（案）の意見募集について】

問 整備計画で老朽化により建て替えが必要な保育園ということで良いか。

回答 そのとおり。

問 現在の屋代保育園の隣接地か。

回答 隣接はしていないが近隣となる。1月31日（月）からパブリックコメントが始まり、ホームページ上で基本計画（案）が掲載されることから、建設予定地はそちらで確認をお願いしたい。

【市政全般について】

問 来年度予算査定にあたっての市長の方針と、どんな思いで臨んだのか。

回答 主に、総合計画の将来像に掲げた「人をてらす 人はぐくむ 人がつながる 月の都 ～ 文化伝承創造都市・千曲～」に基づき予算査定を行った。

一点目としては、就任当初から「人はぐくむ」という人材育成や子育て応援について訴えてきたことから、それらに関連する事業等に重点的に予算付けを行い、また、使い勝手の良い制度に改正するなど、（例えばマタニティタクシーの利用期間を延長するなど）無駄を省きメリハリのある予算編成に心がけた。

二点目として、稼ぐ地域として、稼ぐ力をどのようにつけるかという点を重視した。

三点目として、シビックプライドの醸成に繋がるようなシティプロモーションなど、新しい取り組みも行っていきたいという思いもあり、そのようなところを反映させた。

問 日本遺産を活かした地域振興について、市長は今後どのように考えているか。

回答 昨年から行っている事業を着実に進めることを通じて、地元の人をはじめ多くの方々に千曲市の歴史・文化を理解いただく。そして地域の魅力を感じた方に訪れていただきたいという思いがある。昔ながらの古いものだけでなく、新しいものも生み出せるような地域にしていきたいという思いもある。日本遺産推進事業の中では、最新のデジタル技術VRを活用したイベント等も企画している。古いものと新しいものを融合させて、新たな魅力を創り出したいと思っている。併せて案内看板や句碑・歌碑などの設置など、ハード面での整備も進めたい。

コロナ禍の状況であり、収束が見通せない中ではあるが、春になり暖かくなってきたら、善光寺の御開帳に合わせて魅力ある事業を推進して行きたい。

終了 午後1時47分